

大阪市立我孫子中学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(補足説明資料)

1. 取組内容①【子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】について

① ー1 取り組みを実施する必要性

本校では、平成 30 年度の全国学力・学習状況調査では、国語 AB・数学 AB とともに、全国平均を 2 ポイント以上下回っている。

家庭での学習習慣が定着しておらず、また、友達と話し合う活動や課題に対して主体的に取り組んだという意識の低い生徒が多い。

特に国語 B では平均無回答率が 7.0%となっており、全国平均の 3.0%を大きく上回っている。

上記の課題を解決するために、教育振興基本計画における【施策番号⑤、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】の一環として「一年生全生徒に漢字能力検定を受検させる」ことを実施した。

① ー2 取り組みを実施することにより期待できる効果

漢字能力検定の受検に向けて生徒の学習意欲を向上させるとともに、漢字を覚えることにより読む力の向上にもつながり、基礎学力の定着につながると期待できる。また、達成感・成就感を味わうことにより、漢字のみならず、他の教科においても学習意欲の向上が期待できる。

① ー3 具体的な実施内容

11 月に 1 年生全員が個々の能力に応じた級の漢字能力検定を受検。それに向けて事前学習に取り組む。

① ー4 取り組みに対する達成状況

・取組に対する達成状況：A

・評価理由：取り組み内容①においては目標をもって学習に取り組むことができ、また結果を得ることができるという成果を上げることができた。

以上の成果から A 評価とした。

取組内容②【健康や体力を保持増進する力の育成】について

②－1 取り組みを実施する必要性

平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、50m走及び 20mシャトルランが課題として挙げられた。他の種目は全て全国平均を上回っていたがこの 2 種目においては全国平均に届いていない。

上記の課題を解決するため【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】の一環として安心して運動・スポーツに取り組める環境を構築するため、校内 2 カ所にミスとシャワーの設置を行った。

②－2 取り組みを実施することにより期待できる効果

連日の猛暑の中生徒たちは体育の授業や部活動に一生懸命に取り組んでいるが頑張りすぎて熱中症になる生徒もいた。ミストシャワーの設置により適度に涼をとることができ、熱中症予防となると期待できる。

②－3 具体的な実施内容

校内 2 カ所にミストシャワーを設置する。

②－4 取り組みに対する達成状況

- ・取組に対する達成状況：A

- ・評価理由：取り組み内容②においては運動時に適度に涼をとることができた。そのため、運動の効果が上がり体力向上につなげることができた。

以上の成果から A 評価とした。

取組内容③【質の高い芸術・文化に触れることにより、日本文化のみならず、多文化に親しませ、改めて日本の良さ、大阪の良さを理解させる。】について

③－1 取り組みを実施する必要性

【施策 3 道徳心・社会性の育成】の一環として

校内芸術鑑賞の企画を推進し、豊かな心を育む。伝統芸能、音楽、演劇として実施する。

③－2 取り組みを実施することにより期待できる効果

日本の文化に触れる。手話を交えることによりすべての生徒が楽しむことができる。

③－3 具体的な実施内容

手話落語を鑑賞する。

③－4 取り組みに対する達成状況

- ・取組に対する達成状況：A

- ・評価理由：取り組み内容③により道徳心・社会性の育成を図ることができた。

以上の成果から A 評価とした。

取組内容④【防災・減災教育や安全教育などにより、安全を守るための力の育成をめざす。】

の一環として防災ヘルメットの購入を行う。

④ー1 取り組みを実施する必要性

【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】について。

④ー2 取り組みを実施することにより期待できる効果

安全な環境を築く。また、設置することの目的・意義を伝えることにより防災への関心を高める。

④ー3 具体的な実施内容

折り畳み式防災ヘルメットの購入・設置。

④ー4 取り組みに対する達成状況

- ・取組に対する達成状況：B
- ・評価理由：十分な数の購入ができていない。今後、必要数をそろえていきたい。以上の成果から B 評価とした。

取組内容⑤【地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援。】の一環として講演を行っていただく。

⑤ー1 取り組みを実施する必要性

【施策3 道徳心・社会性の育成】の一環として生徒が地域からこれまでの歴史やこれからについてなどさまざまなことを学ぶことが必要とされる。また、多様な性のあり方や人権について学習を行うことが必要である。

⑤ー2 取り組みを実施することにより期待できる効果

生徒が自ら住む地域の歴史を知る。多様な性のあり方について正しい知識を持つ。生徒の人権意識を高める。

⑤ー3 具体的な実施内容

- ・あさか会理事の山本周平様に来校いただき講演を行っていただく。
- ・性的マイノリティ当事者で弁護士の仲岡しゅんさんに来ていただき講演を行っていただく。

⑤ー4 取り組みに対する達成状況

- ・取組に対する達成状況：A
- ・評価理由：どちらも素晴らしい講演で、生徒の心に伝わるものがあった。以上の成果から、A 評価とした。